

会議の名称	第1回タウンミーティング
開催日時	平成27年5月9日（土）午前9時～午前9時58分
開催場所	藤浪地域防災コミュニティセンター 講堂
出席者	市長、副市長、総務部長、企画部長、秘書課長 参加者 60名
テーマ	市の防災について
質疑応答	
市民A	<p>昨年もタウンミーティングに参加させていただきました。今日は3つのことについて申し上げたり、質問したりしたいと思います。</p> <p>佐織は個別の受信機がなくなって、ひとり暮らしですとか、戸を閉めてしまって一人でぽつりとしていらっしゃる方が、非常に不安に思っておられる。市長が先ほどおっしゃった「災害の際には、最大ボリュームで放送する。わからない場合は逆電して放送内容を聞く」という内容をおっしゃったわけですが、それでどの程度周知できるかということ在全市的な実験といいたいまいしょうか、訓練といいたいまいしょうか、そういうことを一度佐織地区については、特にやっていただきたいと思います。</p> <p>それから、昨年のミーティングの中で、トラクターを持っている人は、トラクターの活用について組織的に考えてはどうかという意見がありました。昔の災害についてはわかりませんが、目比川の決壊の時に非常に道がふさがって、その後の対策、瓦礫の処理などがやりにくかったという覚えがあります。まず、トラクターで道を確保するという計画もお願いしてはどうかと思います。</p> <p>それから、昨年も出ましたとおり、パワーポイントでは非常にわかりにくい。あれはどうなったのだろうと、去年は後ろの方におりまして、下の方はほとんど見えませんでした。そういうことで同じような印刷物を後からでも欲しいと思います。</p> <p>以上3点でございます。</p>
市長	<p>私から分かる範囲でお答えをさせていただきます。</p> <p>まず、始めに現在私どもが進めております同報系の無線について、どれくらい聞こえているのかという訓練をしてはどうかというご意見でございますが、当然、こういったことにつきましては、訓練内容も先ほどお話させていただきましたが、従来の訓練にとられない訓練方法で取り組んでいきたいと考えておりますので、先ほどご意見をいただきましたので、今後検討していきたいと思っております。実施できるかどうかはわかりませんが、そういったことも一</p>

	<p>つの課題として取り入れていきたいと思っています。</p> <p>昨年、ご意見をいただきましたトラクターの件でございますが、現状具体的な取り組みについては、検討しておりませんが、昨年もお答えをさせていただいたとおり、たいへんいい方法であると思っております。普通の車が走れない所でもトラクターなら走ることができると思っておりますので、今後も様々な手法を使いながら、災害発生後、どのような手法で救援、救助していくかを考えていきたいと思っています。</p> <p>パワーポイントでわかりにくく、資料がいただきたいというご意見ですが、昨年も同様な意見がございました。資料を配ることも検討いたしました。資料はかなりの量になっております。先ほど見ていただいてわかるとおり、40ページ近い資料となっておりますので、資料の開示につきましては、今後、タウンミーティングを通じたご意見を検討しながら、今後考えていきたいと思っておりますので、ご理解いただきたいと思っております。以上です。</p>
市民B	<p>私も4点ほど質問をさせていただきたいと思います。先ほどの説明にもありましたが、南海トラフとあって大災害が予想されているわけでありますが、一番低い海拔1.9mの佐屋に防災設備を一極集中させるのではなくて、今まであった4庁舎に分担して維持できるようにしてほしいと思いますが、いかがなものでしょうか。</p> <p>それともう一つですが、先ほどもありましたけれども、佐織町の時代はアナログで各家庭に防災無線があって、防災だけでなく、町内の行事なども逐次連絡されておったんでございます。防災無線になりまして、私は4月から1度も聞いたことがないんですが、家にも聞こえないのでございます。これを何とか聞こえるようにしてほしいということと、こういう生活の命に関わる問題、防災無線とかに、市庁舎建設に約66億円使われていて、そういうときに市民の生活を維持するような防災予算とかを何で組めないのかなと思います。それも検討してほしいと思います。</p> <p>3点、4点は一般的なものになりますが、来年参議院選挙が行われますが、その時に期日前投票を佐織庁舎でも行ってほしいと思います。昨年の投票結果をみますと、期日前投票が佐織地区の人が佐屋地区の人よりうんと低かったわけでございます。ここを見直してほしいと思います。もう一つは、今年までありがたいことに佐織庁舎で確定申告の手続きをしていただいていたわけですが、この佐織庁舎が取り壊されちゃうとできるのかなと不安に思っております。</p>

	<p>す。今後も手続きできるようにしてほしいと思います。以上です。</p>
<p>市長</p>	<p>まず、最初に庁舎の関係ですね。佐屋だけに集中させるのではなく、分散させていただきたいということでございますが、災害が起きた時も通常業務についてもそうですけれども、ご承知のとおり、佐織も一部残させていただく、八開は現状の庁舎は残しますが、本課は佐屋に移させていただく、立田につきましても窓口はやらせていただいて、本課は佐屋に移させていただく。災害が発生した時でもできるだけ瞬時に対応できるように、先ほどもお話をさせていただきましたが、職員一丸となって復旧、復興作業を進めていかなければならぬことも十分に検討した結果、今回の計画になり、佐屋に統合庁舎を建設させていただいたということでございますので、市全体を考えて、私どもといたしましても、できるだけ速やかに対応できるような体制づくりを考えておりますので、ご理解をいただきたいと思ひます。</p> <p>佐織の個別受信機での行事のお知らせもされていたとお話ですが、市内全体の行事につきましては、個別配布をしている広報などでしっかりと掲載をさせていただいておりますし、ラジオ等も有効的に活用させていただきたいと考えておりますので、この点については、アナログ時代からデジタル時代に代わってきたということもござひます。そういった面で、今回、佐織地区につきましては今回このような手法にさせていただいたということでござひますのでご理解をいただきたいと思ひます。</p> <p>期日前投票の件でござひますけれども、以前やっていた段階でも大きな選挙になりますと逆の意味から、投票者が少ないのに期日前の事務をやっているのかというご意見もござひましたので、両方の面を考えて、現在は期日前投票は佐屋庁舎1か所とさせていただいております。結果として投票率が上がる下がるということは一概によかったか悪かったかという判断はできませんけれども、立田、八開地区につきましては、期日前がなくても投票率が若干高い選挙もござひますので、そういった部分もふまえて十分に検討していかなければならぬことであると思ひます。</p> <p>確定申告につきましては、現在一本化するということは決まっておりますので、今のところは通常どおりの確定申告になるのではないかと考えております。市が持っている公共施設は非常にたくさんござひますので、そういった施設をしっかりと見ながらやっていきたいと思ひております。</p>

<p>市民C</p>	<p>勝幡学区、小学校区で言いますと勝幡学区は2,000世帯くらいあります。勝幡でもタウンミーティングをやっていただくとありがたいと思いますので、お願いをしたいと思います。勝幡での開催がないので、こちらへお邪魔しているわけでございます。私の質問は防災に直接関係があることだけではございませんが、まず、防災に関する事で、この地域は水が一番問題ですね。古くは鵜多須切れというのがあったようでございますが、これは木曾川が切れたということでございます。それから、34年ですか、伊勢湾台風がありました。51年に目比川が切れたということで水害が何度も起きているわけでございます。地震については、明治24年ですかね、濃尾地震がございまして、お若い市長さんはご存じないと思いますけれども、勝幡あたりも何軒か倒れた家もあったように聞いております。いずれ大きな地震が来るのではないかと考えておまして、世間でもそういったことが言われております。御嶽の噴火は、火の粉がここへ飛んでくることはないと考えておりますので、その辺は安心しておりますが、さて、一般論でございまして、今、アベノミクスというのを政府が推進しているわけでございますが、第3の矢成長戦略というのがありますが、成長戦略の中身がなかなか見えてこないのですが、一つには新規産業の開発、規制緩和、女性の能力の活用、先ほどありました地方の創生、こういうことがありまして、この地方の創生について若干こだわりがあるわけでございますが、ご案内のように石破茂さんという有力な方が大臣になられて、政府としては推進をされておるわけでございますが、最前の話ですね、愛西市も財政状況がだんだん厳しくなってきた、ますます厳しくなってくるということでございまして工業団地の誘致といえますか開発も必要だろうと思いますが、やはり町おこし的なことも必要であろうと思っておるわけでございます。私が質問したいことはですね、NPO法人というのがあるわけでございますが、愛西市にどの程度あるかわかりませんが、NPO法人の中には町おこしにつながる、地方創生につながるものもですねあると思っております。それがひいては税収増につながると思っております。財政はだんだん窮迫してくると微々たるものかもしれませんが、一助にはなるのかと思っております。そこでですね、愛西市といたしまして、NPOの育成ということにつきまして、どのようにお考えになっておるか、また、具体的にですね、総務部長さんも企画部長さんもいらっしゃいますので、どの部のどの課でNPO法人の育成についてお取</p>
------------	--

	<p>り次ぎを願えているのかどうか、お取り次ぎのお考えがあるかどうか、この点について率直なご意見を伺いたいと思います。以上です。</p>
市長	<p>それでは、私から若干説明をさせていただきます。まず、タウンミーティングの会場につきましては、基本的には市内6中学校区で1か所ずつ行っていきたいと思っております。今回は、こちらの藤浪コミュニティーを利用させていただきましたが、去年は佐織の公民館で行わせていただきました。このように会場を変えながら、時間帯も変えながら、できるだけ多くの皆様方に参加していただけるよう会場設定等させていただいておりますのでご理解いただきたいと思っております。</p> <p>先ほどたくさんの方の過去の災害のことを知ってみえる、たいへん詳しい方でございますので、こういった過去の災害を次世代に語り継いでいただくということもたいへん重要なことだと思っております。今後、ご尽力いただきたいと思っております。また、町おこし、地域の活性化につきまして、NPO法人を始め、各種団体の方々の活動はたいへん重要であると思っておりますし、今後、NPOに限らず各種団体のサポート等は行政としても行っていかねばならないと考えております。特に、ご相談等がございましたら、総務課へお問い合わせをいただくとありがたいと思っております。それぞれの各種団体につきまして、目的がありましたら、その目的の例えば、スポーツのことでしたら社会体育課へお問い合わせいただきたいと思いますので、それぞれの目的にあった各問い合わせ機関に問い合わせをしていただきたいと思います。以上でございます。</p>